研究業績等の記述について

1. 「論文」は査読のある原著論文を意味しており、これを適当なテーマ別に分け、その中で年度・月順に並べ、ナンバリングをすること。

２．同じ内容の論文については、同じ番号にダッシュ（´）を付すること。

３．連名論文の内、連名者の誰かがドクター論文として使用した場合は、その人の名前の肩にＤ印を付けること。

４．国際会議論文、解説、総説、学会発表等は、論文の次に別に記入のこと。

５．論文等は、掲載（発表）済みもしくは掲載（発表）が決定したものを記入することとし、投稿中などの未確定なものは除くこと。

６．「学会ならびに社会における活動」、「教育等に対する貢献」については、サンプルを参考にして内容を適当に判断すること。

７．特許があれば、その出願状況を記述する。

８．外部資金については、過去5年程度のものを記述する。ただし、募集要項に指定がある場合は、それに従うこと。

９．様式中の赤字は、記入例ですので、削除のうえ、様式をご利用ください。

研　究　業　績

　　氏　名

Ⅰ 著　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 著　書　名 | 発行所名 | 発行年月  （西暦） | 著者、分担執筆者等 |
| 1. 化学ことはじめ  以上、著書総数　3報  （うち、単著　1報、分担執筆　2報） | 関西出版社  （総ページ数：123） | 2012.5 | 大阪 太郎 |

Ⅱ　論　文

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 発表機関名（雑誌名）、巻号、ページ | 発表年月  （西暦） | 著者 |
| **A.化学物質が示す物理化学挙動に関する研究**  1.Exerimental Study on Chemical-Induced Structural Transition of ABC  以上、論文総数　4報  （うち、筆頭著者・責任著者数　3報） | J. Phys. Chem. A, Vol.100, pp.12-18 | 2010.3 | T. Osaka  H. Kodai  J. OsakaD |

Ⅲ　国際会議論文等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 学会名、論文等の番号、場所 | 発表年月  （西暦） | 著者 |
| **A.化学物質が示す化学挙動に関する研究**  1. Numerical Study on Chemical Behavior of AB-CDE  以上、国際会議論文発表総数　4報  （うち、筆頭著者数　3報） | Proc. of the 2013 AChS (American Chemical Society) Annual Meeting, pp.123-134  (San Francisco, USA) | 2013.5 | T. Osaka  H. Kodai  J. OsakaD |

Ⅳ　解説・総説等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 発表機関名（雑誌名）、巻号、ページ | 発表年月  （西暦） | 著者 |
| 1. 化学物質が示す化学挙動に関する研究  以上、解説・総説総数　1報  （うち、筆頭著者は　1報） | 化学と産業,  Vol. 10, pp.100-103 | 2015.4 | 大阪 太郎  公大 花子 |

学会ならびに社会における活動

　　氏　名

|  |  |
| --- | --- |
| 年　　月　　日  （西暦） | 事　　　項 |
| 2010年4月1日  　　　　　～2017年3月31日 | 化学物理工業会　学生会員 |

教育等に対する貢献

　　氏　名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　目　名　等 | 事　　　項  （日付は西暦） | 備　　考 |
| ティーチング・アシスタント  （京東大学工学部） | 2010年4月1日～2010年8月31日  2011年9月1日～2012年3月31日 | 従事 |

※助手・TAの期間中は､備考欄に全て従事と記入（助教の場合は、分担か担当を記入）

特　　許

　　氏　名

Ⅰ 特許登録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特　許　名 | 特許登録番号 | 登録年月  （西暦） | 発明者 |
| 1. 化学物質の計測方法 | 特許第501234号 | 2016.4 | 大阪 太郎  公大 花子 |

Ⅱ 特許公開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特　許　名 | 特許公開番号 | 公開年月  （西暦） | 発明者 |
| 1. 化学物質の製造方法 | 特願2015-23456 | 2015.6 | 大阪 太郎 |

外　部　資　金

　　氏　名

Ⅰ　科学研究費補助金等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 研究種目名 | 期　間 | 金　額  （千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の測定方法に関する研究 | 科学研究費補助金・基盤研究（B） | 2010.4～  2013.3 | 総額25,000  （分担9,000） | 分担 |

Ⅱ　教育・研究奨励寄付金等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 寄付申込先 | 期　間 | 金　額  （千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の合成法に関する研究 | 日本合成学会  (大学院生研究奨励賞) | 2010.5～2011.3 | 150 | 代表 |

Ⅲ　受託研究等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 受託研究先 | 期　間 | 金　額  （千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の連続反応に関する研究 | 反応合成財団 | 2014.4～  2015.3 | 総額20,000 | 代表 |

Ⅳ　共同研究等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 共同研究先 | 期　間 | 金　額  　（千円） | 代表・分担の区別 |
| １．化学物質の微量合成 | 株式会社ABC | 2015.4～  2016.3 | 総額4,000 | 代表 |